

平成24年11月30日
東北電力株式会社

電気料金改定に向けた検討開始について

当社は、東日本大震災による石炭火力等の設備被害や原子力の停止、新潟・福島豪雨による水力発電所の被害の影響により、火力燃料費が大幅に増加しております。加えて、被災設備の復旧費用や緊急設置電源等の導入に係る設備関連コストの発生などで、会社創立以来の厳しい収支状況にあります。

このため、これまで緊急的な支出抑制や繰り延べ、人件費の削減などあらゆる分野での効率化を図るとともに、自己資本の取り崩しにより、コストの増加分を吸収しながら、被災地の復興の妨げとならないよう現行料金の維持に努めてきたところです。

しかしながら、原子力の再稼働が見通せない中、火力燃料費の増加をはじめとする膨大なコスト負担をこれまでのように緊急的な支出抑制や繰り延べ、自己資本の取り崩しにより吸収し続けることは、設備保全と資金調達の両面で電力の安定供給に支障をきたすこととなります。

このような状況を踏まえ、非常に残念であり、お客さまには大変申し訳ありませんが、電気料金の見直しについて判断せざるを得ず、今般本格的に検討を開始することといたしました。

足下の財務状況を考慮すると、平成25年度の早い時期に料金値上げを実施し、早急に収支の改善を図ることが必要と考えております。ただし、具体的な検討にあたっては、1日でも長く現行料金を維持するとともに、更なる効率化を織り込んで値上げ幅を可能な限り圧縮するよう努めてまいります。

お客さまにご負担をお願いする電気料金の見直しの検討に至りましたことについて、お詫び申し上げますとともに、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上